

インテック、ローカル 5G 免許取得 ～富山と神奈川にマルチワイヤレス技術の実証環境を整備～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は本日2月14日、総務省北陸総合通信局から Sub-6(4.7GHz)、スタンドアロン(SA)構成※1でのローカル 5G※2無線局免許状の交付を受け、免許取得したことをお知らせします。

※1 Sub-6 スタンドアロン(SA)構成とは、ローカル 5G では Sub-6(4.7GHz)とミリ波帯(28GHz)の2つ周波数帯があり、Sub-6帯は遮蔽物にも強く通信範囲が広いという特性のため幅広いニーズに対応できるとされています。また、ローカル 5G の提供方式として、5G 設備だけではなく 4G LTE の設備も必要となる NSA(ノンスタンドアロン)構成と 5G 設備のみで提供できる SA 構成があります。SA 構成は 2020 年 12 月に実用免許制度化され、5G 本来の性能を発揮できることから、今後は SA 構成が主流になると考えられており、インテックでは sub-6、SA 構成を採用しています。

※2 ローカル 5G: 企業や自治体が 5G によるプライベートネットワークを構築して利用できる通信環境。無線通信回線として利用可能で、運用するには無線局の免許を取得する必要があります。

■マルチワイヤレス技術の実証環境

5G の商用サービスが始まり、超高速・大容量の通信が可能になったことで、業界を問わず様々な分野でワイヤレス技術を活用したソリューションのニーズが急速に高まっています。

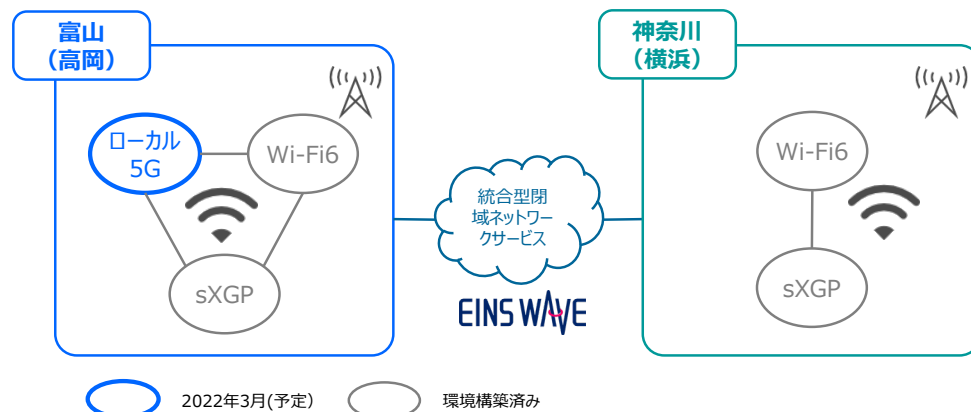
インテックは今回の免許取得を受け、新しいワイヤレス技術の獲得と昨年発表した「ワイヤレス DX※3」のソリューションの検証を行うため、高岡市の事業所内に「ローカル 5G」の環境を 2022 年 3 月に構築します。これにより富山県と神奈川県に構築済みの「sXGP(プライベート LTE)」「Wi-Fi6(802.11ax)」など最新ワイヤレス通信を同時に組み合わせて比較できる実証環境が整備されます。

実証環境では、遠隔体験用デバイスや映像配信などの技術を活用し、自社およびお客様との様々な DX ソリューションやネットワークサービスの検証および、AI やエッジコンピューティングなど最新ワイヤレス通信環境を活用した先端技術の研究開発を行います。

※3 「ワイヤレス DX」とは、インテックの広域仮想ネットワークからマルチワイヤレス技術を用いて、ケーブルや端末、空間や場所などに制約のない環境を創出し、お客様の課題解決を支援するインテックの新しいソリューションの総称です。

<「ワイヤレス DX」実証環境イメージ>

・事業所内、および複数の事業所間で「ローカル 5G」を含め「sXGP」や「Wi-Fi6」など最新ワイヤレス通信を同時に組み合わせた実証が可能



<マルチワイヤレス技術の特長>

| | ローカル 5G | sXGP(プライベートLTE) | Wi-Fi6(802.11ax) |
|--------|-------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 免許 | 必要(自己建物土地) | 不要 | 不要 |
| 特長 | エリア指定、大容量伝送、同時多数接続、低遅延 | 免許不要、安定したセキュアな通信 | 高速、省エネ、安定性向上 |
| 活用例 | 地域や特定エリア内での高精細動画伝送、遠隔制御 | 構内 PHS の後継として、病院内や製造現場で活用 | スマート家電など、家庭内の IoT デバイスとして活用 |
| 実証開始時期 | 2022 年 3 月～ | 実施中 | 実施中 |

■インテックが提供するワイヤレス DX ソリューション

「ローカル 5G」が持つ大容量・同時多数接続・低遅延といった特長だけでなく、「sXGP」や「Wi-Fi6」など、それぞれの特長を活かしたワイヤレス技術を活用し、8つの産業分野をターゲットに新しい DX の価値を提供する「ワイヤレス DX」ソリューションを展開していきます。



参考：「ワイヤレス DX」に関する発表内容について

- ・2021 年 10 月 11 日発表

ローカル 5G などマルチワイヤレス技術を活用した「ワイヤレス DX」ソリューションを展開開始
https://www.intec.co.jp/news/2021/1011_1.html

- ・2021 年 10 月 13 日発表

インテックと愛媛 CATV、スマートシティ分野で協業開始
https://www.intec.co.jp/news/2021/1013_1.html

・2021年11月1日発表

ニューノーマル時代の新しい働き方を実現する「ワークスタイル変革支援サービス」の提供を開始

https://www.intec.co.jp/news/2021/1101_1.html

・2021年12月13日発表

インテック、産休・育休からの復職を支援する専用ポータルサイトを活用した実証実験を開始

https://www.intec.co.jp/news/2021/1213_1.html

・2022年1月18日発表

EINS WAVEにお客様のDXを支えるインフラ基盤「マルチワイヤレスインテグレーションサービス」を追加

https://www.intec.co.jp/news/2022/0118_1.html

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

[インテックについて \(https://www.intec.co.jp/\)](https://www.intec.co.jp/)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループは、国内外グループ2万人を超える社員が『ITで、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市集中・地方衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心とした様々な社会課題の解決に向けてITサービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣

E-Mail : press@intec.co.jp

【「ワイヤレスDX」に関するお問い合わせ】

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 新事業開発部 担当：澤田、安吉

E-mail: wdx_info@intec.co.jp

問い合わせフォーム: https://www.intec.co.jp/inquiry_form/?id=press002